

# 江津市都市計画マスタープラン

- 概要版 -

2021-2040

新たな時代のなかで、  
小さくともキラリと光るまち「ごうつ」をめざして

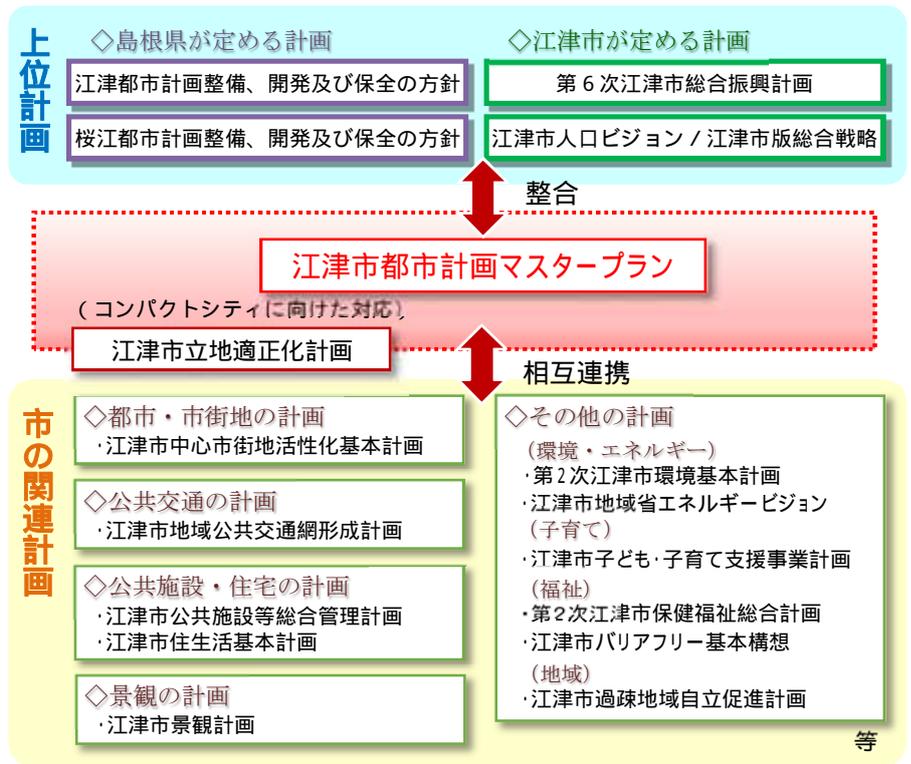
島根県 江津市

# 1. 計画の概要

## 都市計画マスタープランの位置付け

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に規定される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」で、これからの江津市の都市計画行政をはじめとしたまちづくりの指針となる計画です。

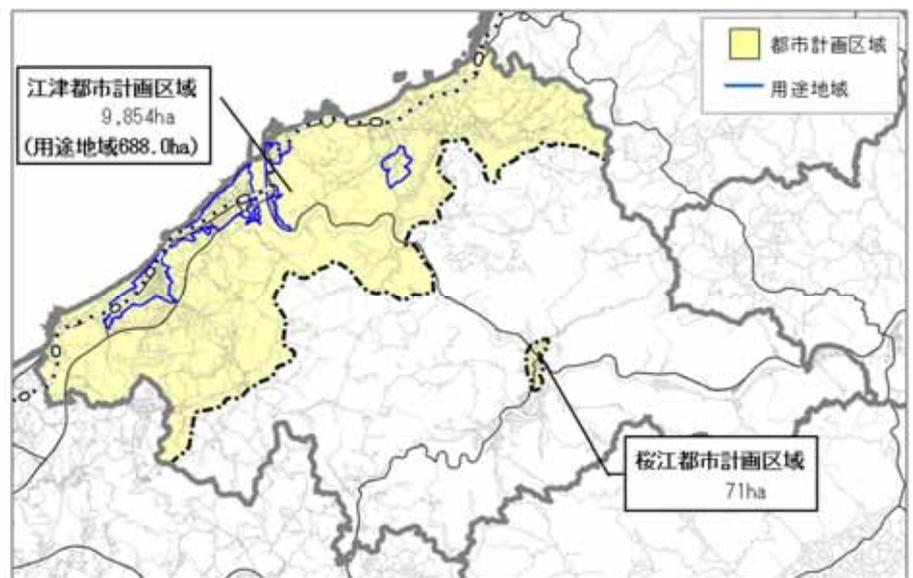
江津市都市計画マスタープラン（以下「本計画」という。）は、本市の「めざすべき将来像とその実現にむけた取り組みの方向性」を都市計画の分野から総合的にまとめたもので、道路、公園、下水道、その他都市施設の整備など、将来のまちづくりに必要な都市の骨格を形作る際の指針となります。



## 計画の対象範囲

本市は、2つの都市計画区域（江津・桜江）を有しています。

これら都市計画区域内の整備、開発及び保全を図ることに留意しながら、市全域の都市計画に関する基本方針を定めています。



## 計画の目標年次 : 2040年（令和22年）

本計画の目標年次は、計画策定から概ね20年後の「2040年（令和22年）」とします。

ただし、本計画は5年ごとに計画の進捗状況を管理し、総合振興計画や立地適正化計画等の上位・関連計画と併せた見直しを図っていきます。

## 2 . 計画の基本理念と将来像

### 計画の基本理念

#### ○理念1：市民の参画と協働による小さくとも個性が際立つまちを創る

これからのまちづくりのあり方として、行政が一方的に施策を進めるのではなく、まちの主人公である市民が主体となって積極的に参画・協働し、小さくとも個性が際立つまちづくりを進めていく必要があります。

#### ○理念2：若者や子育て世代が元気に働き、いきいきと健やかに住まうまちを創る

若者や子育て世代の移住・定住化に向けて、地域の特性を活かした魅力的な産業を掘り起こし、多様な雇用機会を確保するとともに、子どもも大人もいきいきと健やかに住むことができる住宅・住環境を整備する必要があります。

#### ○理念3：すべての市民が、安全に安心して快適に暮らせるまちを創る

少子高齢化が急速に進む本市にあって、近年の激甚化する自然災害や地球環境の変化に対して柔軟に対処し、すべての市民がこれからも、安全に安心して快適に暮らせるよう、社会基盤を整備する必要があります。

#### ○理念4：持続可能な都市活動や地域間の連携・交流を支えるまちを創る

生産年齢人口の減少など経済活力が相対的に低下している状況の中で、持続可能な都市活動を行っていくための社会環境の整備、周辺市町や地域間の連携・交流の活性化など広域的視点に立った都市機能の整備を図っていく必要があります。

#### ○理念5：SDGs（持続可能な開発目標）の達成に寄与する持続可能で強靱なまちを創る

平成27年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標である「SDGs」の達成に寄与することが必要であり、「SDGs」の理念を念頭に置きつつ、市民との協働の基で、コンパクトで利便性が高く安全で災害に強い持続可能な都市及び居住環境の実現を目指します。

#### ○理念6：豊かな自然環境と共生し、地域の資源を活かした魅力あるまちを創る

本市は、日本海や江の川をはじめとする豊かな水資源に恵まれ、市街地の背後には広大な緑を有しています。これらの豊かな自然環境と共生しながら、地域の資源を活かした魅力ある都市環境の創出を目指します。

### まちの将来像

## 新たな時代のなかで、 小さくともキラリと光るまち「ごうつ」をめざして

「令和」という新しい時代が始まったなかで、本市が将来にわたって持続していくためには、市民のシビックプライド※の醸成を図りつつ、たとえ小さくとも、その魅力を発揮し、まちも人も輝き続ける江津市をめざすため、まちの将来像（キャッチフレーズ）を『新たな時代のなかで、小さくともキラリと光るまち「ごうつ」をめざして』とします。



江津ひと・まちプラザ パレットごうつHPより

※シビックプライドとは、「都市に対する市民の誇り」という概念で、単に地域に対する愛着だけではなく、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする自負心を指します。

### 3 . 将来都市構造

#### 拠点の形成

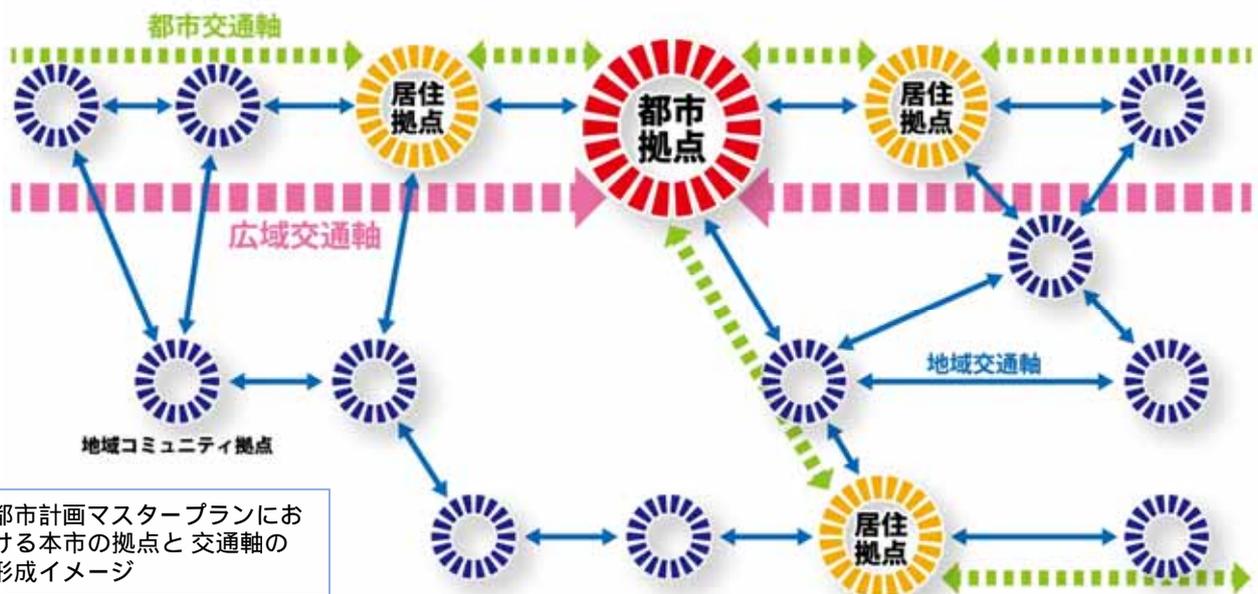
本市の拠点を「都市拠点」、「居住拠点」、「地域コミュニティ拠点」の3つの階層に分類して、役割を位置付けます。

記号	分類	拠点の対象地区	該当する拠点地区
	都市拠点	市の中心として、高度で多機能な都市機能を集約させ、市の顔としてその魅力を伝える地域 居住拠点からのアクセス可能な交通結節点があり、主要幹線道路へのアクセス性が高い地域	江津駅周辺地区
	居住拠点	都市拠点と相互に補完しながら、日常生活に必要な都市機能や地域住民を対象とした特定の都市機能を集約する地域 地域コミュニティ拠点よりも集客性のある機能を有する地域	都野津駅周辺地区、浅利駅周辺地区、旧川戸駅周辺地区
	地域 コミュニティ 拠点	日常に最低限必要な生活サービス機能を集約させ、コミュニティ活動の中心的な場となる地域 都市拠点や居住拠点へのアクセスが可能であり、近隣の地域コミュニティ拠点どうしで必要な機能を補完し合う地域	長谷、市山、川越、波積、黒松、都治、松平、跡市、敬川、波子、有福温泉 (都市拠点または居住拠点と位置が重複する地域コミュニティ拠点は省略)

#### 交通軸の形成

広域的な市外の都市間、市内の都市拠点、居住拠点、地域コミュニティ拠点間を結ぶ、利便性の高い快適な移動環境の構築に向けて、都市の骨格となる「交通軸」を形成します。

記号	分類	設定条件	主な該当路線
	広域交通軸	都市拠点を經由して市外への広域移動に際して利用する道路交通路線または公共交通路線	道路交通：山陰自動車道 公共交通：JR山陰本線(特急)
	都市交通軸	都市拠点と居住拠点または居住拠点と隣接市町を結び、都市の骨格となる道路交通路線または公共交通路線	道路交通：国道9号、国道261号 公共交通：JR山陰本線(普通)、石見交通(バス)
	地域交通軸	居住拠点と地域コミュニティ拠点または地域コミュニティ拠点どうしの交流を促す道路交通路線または公共交通路線	道路交通：市内の県道・主要市道 公共交通：市内のバス路線 (コミュニティバスを含む)



都市計画マスタープランにおける本市の拠点と交通軸の形成イメージ

## 将来都市構造

将来都市構造は、まちの将来像を実現するため、計画的な土地利用及び自然環境の保全に関する基本的な配置のあり方を示すとともに、本市の拠点と交通軸の形成のあり方を示すものです。

記号	分類	該当する地区やエリア
	市街地ゾーン	江津駅周辺地区（中心商業・業務地ゾーン）、嘉久志地区・都野津地区・渡津地区（近隣商業地ゾーン）
	住宅地ゾーン	土地区画整理事業や開発行為等の実施地区（嘉久志・渡津・和木・都野津・旧川戸駅周辺・浅利地区等）
	工業地ゾーン	江津工業団地、江津港周辺部（臨海工業団地等）
	用途地域内のその他のゾーン	上記「市街地ゾーン」「住宅地ゾーン」「工業地ゾーン」を除く地区
	レクリエーションゾーン	石見海浜公園、温泉リゾート風の国、江津中央公園、菰沢公園、波積ダム
	歴史・文化ゾーン	江津本町地区、有福温泉地区
	周辺集落エリア	主として、農業をなりわいとする集落コミュニティが分布するエリア
	自然環境エリア	主として、山林など自然環境の維持・保全を図るエリア



## 4 . 全体構想

### まちづくりの基本方針

本計画に掲げる「まちの将来像」や「計画の基本理念」の実現に向けて、各分野において、取り組み方針（基本方針）を定め、計画的に事業を進めるための指針とします。

将来像

新たな時代のなかで、小さくともキラリと光るまち「ごうつ」をめざして

#### 【計画の基本理念】

- 市民の参画と協働による小さくとも個性が際立つまちを創る
- 若者や子育て世代が元気に働き、いきいきと健やかに住まうまちを創る
- すべての市民が、安全に安心して快適に暮らせるまちを創る
- 持続可能な都市活動や地域間の連携・交流を支えるまちを創る
- SDGs（持続可能な開発目標）の達成に寄与する持続可能で強靱なまちを創る
- 豊かな自然環境と共生し、地域の資源を活かした魅力あるまちを創る

全体構想 ～まちの将来像や計画の基本理念を実現するための取り組み～

対象分野	分野別基本方針	施策方針
1 . 土地利用	まちの特性や地理的条件に応じた適切な土地利用への誘導	①市街地エリアの土地利用（主に工業系を除く用途地域） ②市街地周辺エリアの土地利用（主に工業系用途地域、用途地域指定のない都市計画区域） ③集落・里山エリアの土地利用（都市計画区域外の区域） ④適正な土地利用への誘導
2 . ネットワーク整備	まちなかや地域間をつなぐ交通ネットワークの充実	①道路交通ネットワークの充実・強化 ②公共交通ネットワークの充実
3 . 都市施設整備	求心力の高い拠点形成に向けた機能的な都市施設の整備・運営	①道路・公園・下水道等の都市基盤施設整備 ②学校・病院等の公益施設整備
4 . 市街地整備	まちの衰退やスポンジ化への対応に向けた市街地の再生・整備	①計画的な面的整備の推進 ②空き家など都市のスポンジ化への対応 ③住宅・住環境の整備
5 . 都市防災	自然災害や地球環境の変化への対応に向けた都市防災機能の強化	①防災拠点・避難場所・避難路等の整備 ②洪水・浸水被害への対応 ③土砂災害への対応 ④震災への対応 ⑤地域防災力の向上
6 . 都市環境形成	豊かな自然環境や歴史・文化、地域集落の営みと調和した都市環境の形成	①自然環境の保全と活用 ②都市緑化の推進 ③環境負荷の軽減
7 . まちの魅力創出	地域が誇る文化・観光資源を最大限に活かしたまちの魅力と活力の創出	①地域の資源を活かしたにぎわい・交流空間の創出 ②ごうつらしさが香る都市景観の形成 ③誰もが安全に安心して快適に暮らせる都市空間の形成

# 5 . 地域別構想

## 江津中央地域

### 江津市の顔として魅力にあふれ、市民だれもが利用しやすい中心市街地の形成

江津中央地域には、本市の玄関口となる江津駅があり、市全体の公共交通の拠点として、全ての市民を対象に高次の都市機能を集積した魅力ある中心市街地の形成が求められています。一方、都市機能を維持する観点から、中心市街地での人口減少対策が重要な課題となっています。そのため、中心市街地内の空き家や空き地を中心に居住を誘導し人口密度を高めることで、都市機能がより一層集積する他、各地域からの公共交通の利便性がよく、市民だれもが利用しやすい中心市街地の形成をめざします。

また、江の川流域で近年頻発する甚大な豪雨災害への対応として、住民の生命等を災害から守る観点に立ち、河川整備の促進に加え、災害ハザードエリア内にある住居の移転に向けた検討を推進していきます。



シビックセンターゾーン

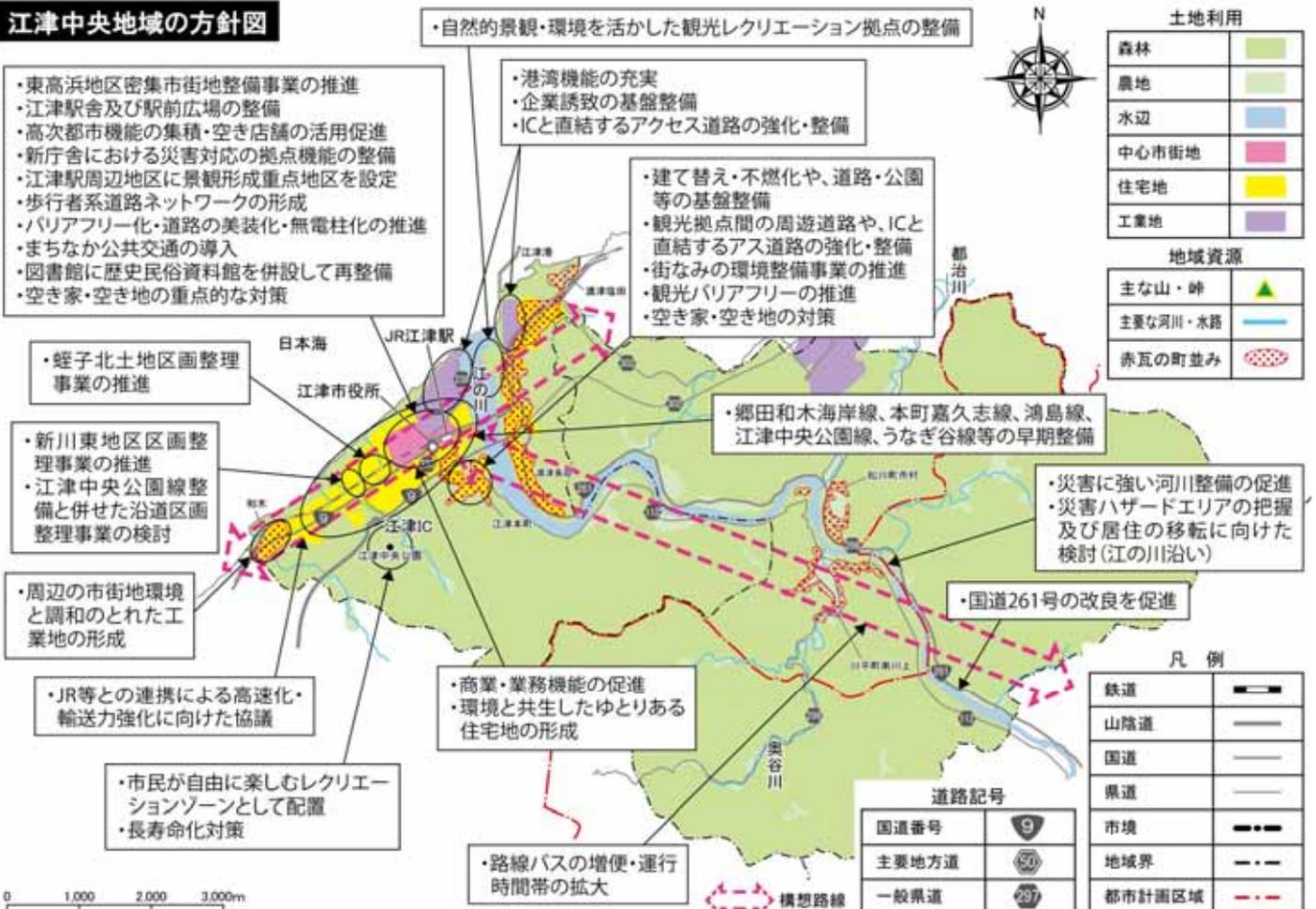


江津駅



江津本町 豊街道

### 江津中央地域の方針図



## 5 . 地域別構想

### 江津西地域

#### 赤瓦による市街地の魅力を生かした、快適で活力あふれるまちづくり

江津西地域には、都野津・敬川・波子・有福温泉など、古くからの市街地に美しい赤瓦の街並みが形成されています。石州瓦生産や窯業の中心地であった都野津地区周辺は土地区画整理事業が行われ、良好な住環境整備が進むなどにより、本市の第二の拠点となっています。

一方、古くからの市街地内には、狭あい道路や空き家が多いほか、無秩序な小規模住宅化が進み、防災面や生活環境面での課題を抱えています。また、本市の重要な地域資源である有福温泉の再生も重要な課題となっています。

こうした中、都野津地区の赤瓦の町並みや有福温泉等の地域資源を活かした魅力づくり、産業道路沿道の産業振興を念頭に、各市街地の特性を活かした生活環境の改善と拠点性の強化を図り、市街地の魅力を生かした、快適で活力あふれるまちづくりをめざします。



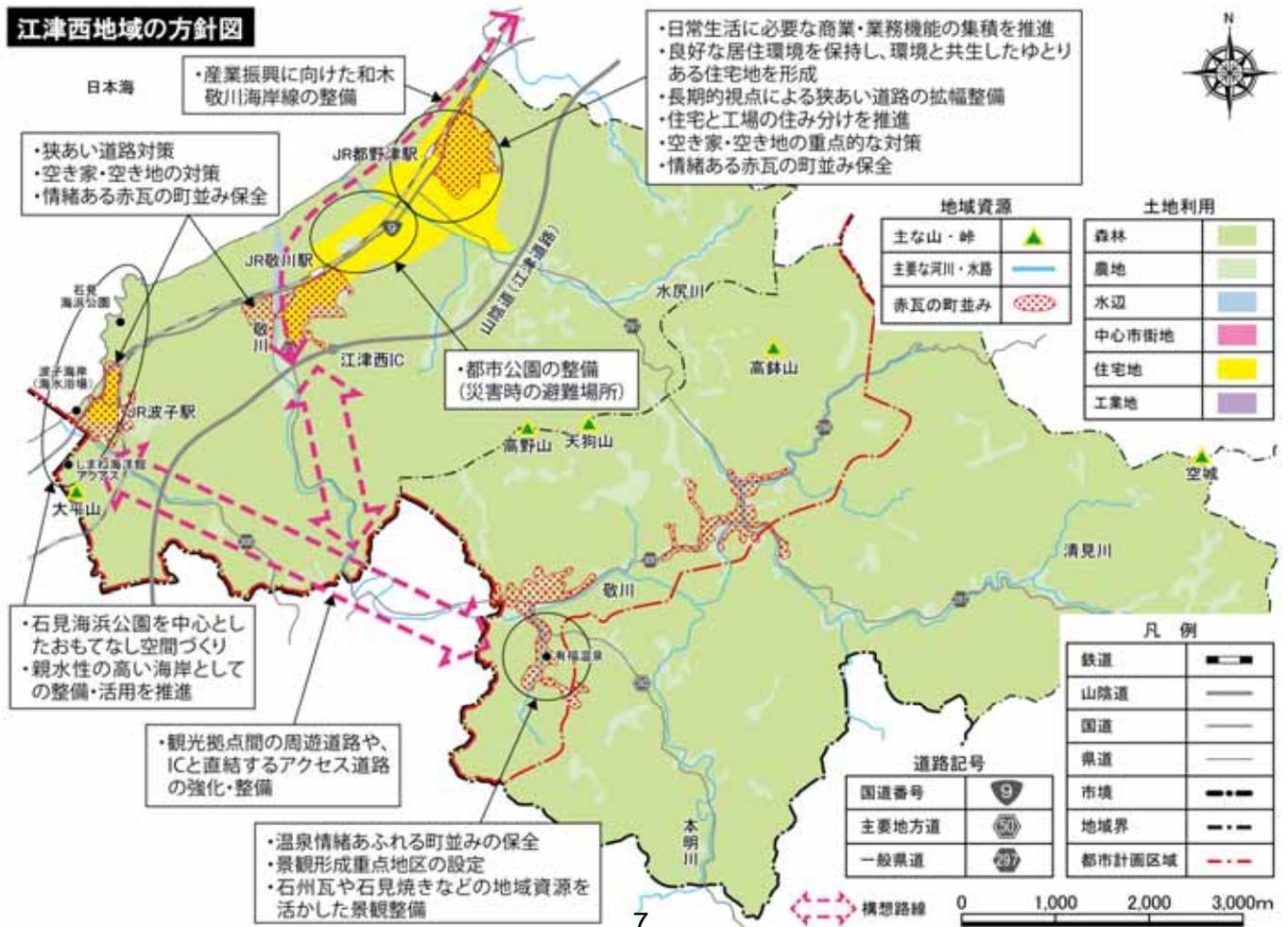
波子海岸



都野津地区の市街地遠景



有福温泉



## 江津東地域

### 高速道路の開通を見据えた、産業育成と定住・交流のまちづくり

江津東地域には、浅利・黒松・都治・波積といった地域コミュニティ拠点が分散し、各拠点での人口減少や高齢化、特に浅利駅周辺の拠点性の維持・強化が課題となっています。

こうした中、高速道路のインターチェンジの整備が地域内にて計画されており、その完成を契機として、浅利駅周辺における居住拠点の拡大を図るとともに、道の駅や浅利駅周辺・江津工業団地などの交通利便性を活かし、産業の育成と定住・交流を推進するまちづくりをめざします。

特に、インターチェンジ整備と併せて、周辺地区にて観光・レクリエーション拠点を形成し、地域資源ネットワークの起点としての活用を図ります。



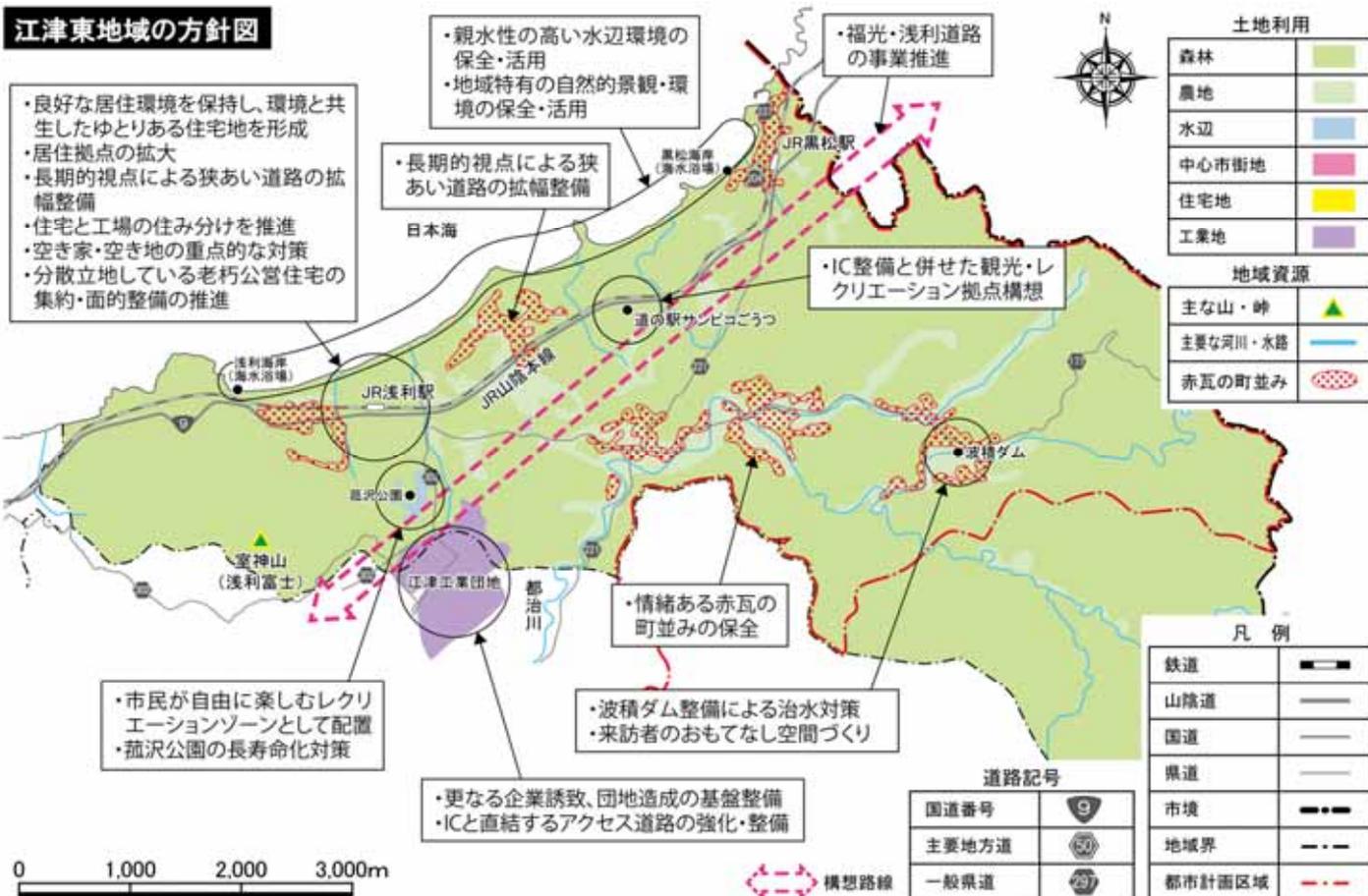
浅利地区の市街地遠景



黒松地区



浅利海岸



## 5 . 地域別構想

### 桜江地域

#### 桜江町の拠点性の強化と、便利で安心して暮らせるまちづくり

桜江地域には、桜江町の中心部である川戸地区に、一定程度の生活利便施設が集積しており、地域全体の拠点としての役割が求められています。一方、JR三江線の廃止による生活利便性の低下や、度重なる集中豪雨による災害被害、市内で最も進行する人口減少・高齢化など、多くの課題を抱えています。

こうした中、旧川戸駅跡地を含めた周辺空間の有効利用により、生活利便施設や人口の集約、安全・安心な居住空間の創出など、桜江町の拠点性の強化を図り、中山間の豊かな自然環境の中で、便利で安心して暮らせるまちづくりをめざします。

また、江の川流域で近年頻発する甚大な豪雨災害への対応として、住民の生命等を災害から守る観点に立ち、河川整備の促進に加え、災害ハザードエリア内にある住居の移転に向けた検討を推進していきます。



旧川戸駅

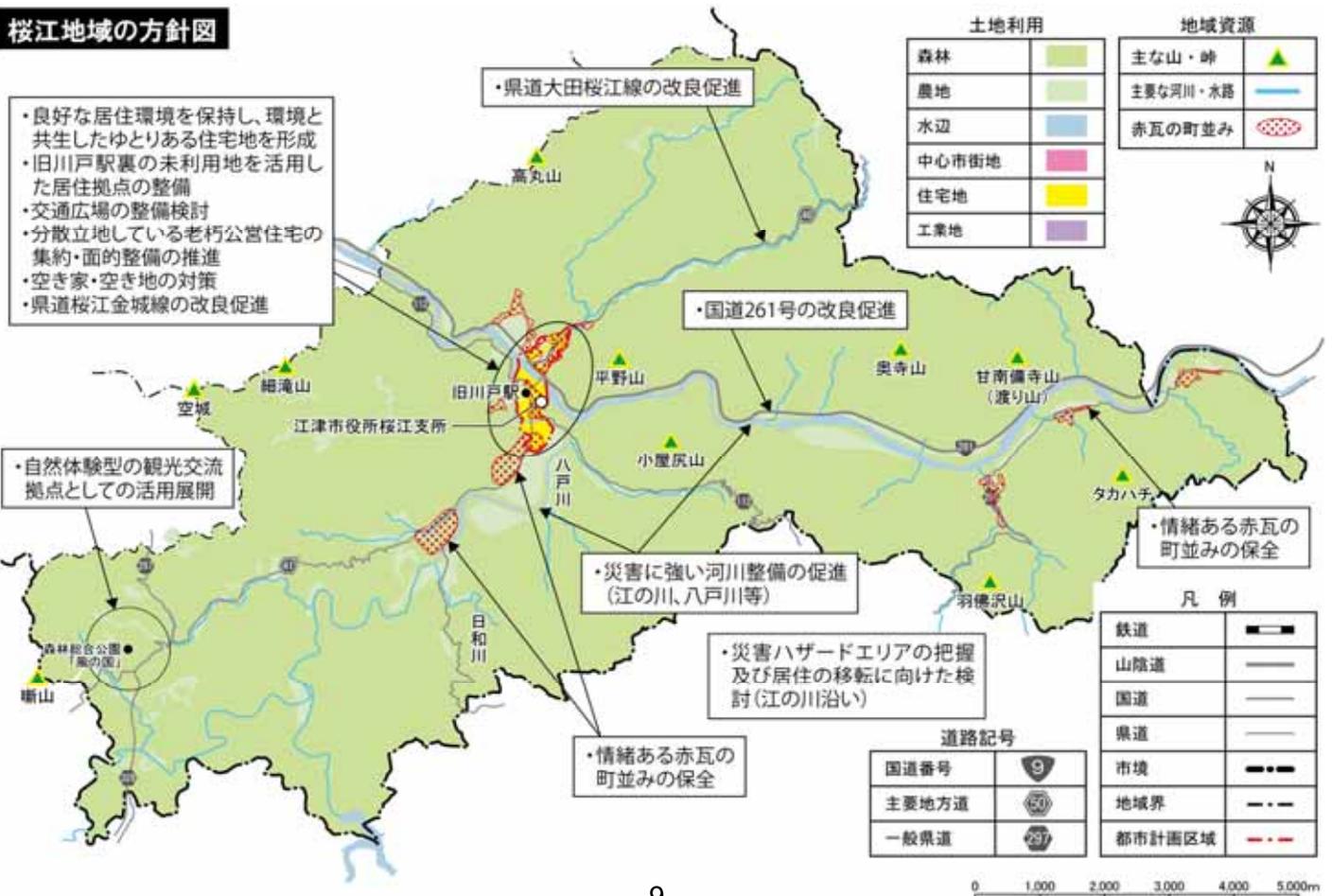


赤瓦の民家（桜江町小田付近）



江の川（桜江町川越付近）

#### 桜江地域の方針図



## 6 . 重点プロジェクト

### 各地区の重点プロジェクト

「まちづくりの目標」の実現を先導するなどの視点から、重点的に取り組む事業や施策を重点プロジェクトとして挙げ、住民・事業者・行政の協働の取り組みを展開していきます。

#### □重点プロジェクト抽出の視点

4つの地域での「まちづくりの目標」の実現を先導する施策・事業

市民が都市づくりの効果を早期に実感できる施策・事業

コンパクト・プラス・ネットワークの将来都市構造の形成を先導する施策・事業（立地適正化計画における都市拠点区域及び居住拠点区域内の施策・事業を優先）

住民・事業者・行政の協働の都市づくりを先導する施策・事業

市域全体でのシンボル性や波及効果の高い施策・事業

地域	まちづくりの目標	重点プロジェクト（まちづくりの方針）
江津中央地域	江津市の顔として魅力にあふれ、市民だれもが利用しやすい中心市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東高浜地区密集市街地整備事業の推進</li> <li>○本町地区街なみ環境整備事業の推進</li> <li>○江津駅舎及び駅前広場の整備</li> <li>○江津駅周辺での高次都市機能の集積・空き店舗の活用推進</li> <li>○まちなか公共交通の導入</li> <li>○歴史民俗資料館機能を併設した図書館の整備</li> <li>○市街地における空き家・空き地の重点的な対策</li> <li>○江津駅周辺に景観形成重点地区を設定</li> <li>○郷田和木海岸線、江津中央公園線整備の推進</li> <li>○蛭子北土地区画整理事業、新川東地区区画整理事業の推進</li> </ul>
江津西地域	赤瓦による市街地の魅力を生かした、快適で活力あふれるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業振興に向けた和木敬川海岸線（産業道路）の整備</li> <li>○市街地における都市公園の整備</li> <li>○市街地における空き家・空き地の重点的な対策</li> <li>○既成市街地における狭あい道路の拡幅整備の推進</li> <li>○有福温泉地区における景観形成重点地区を設定</li> <li>○都野津・敬川・波子・有福温泉の歴史的な町並みの保全</li> <li>○石州瓦・石見焼などの地域資源を活かした景観整備</li> </ul>
江津東地域	高速道路の開通を見据えた、産業育成と定住・交流のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅利駅周辺における居住拠点の拡大</li> <li>○市街地における空き家・空き地の重点的な対策</li> <li>○分散立地している老朽公営住宅の集約化および面的整備の推進</li> <li>○IC整備と併せた観光・レクリエーション拠点構想の推進</li> <li>○波積ダム周辺のおもてなし空間づくりの推進</li> <li>○山陰道（福光・浅利道路）の促進</li> </ul>
桜江地域	桜江町の拠点性の強化と、便利で安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧川戸駅裏の未利用地を活用した居住拠点の整備</li> <li>○分散立地している老朽公営住宅の集約化および面的整備の推進</li> <li>○江の川沿線住民の居住の安全性確保に向けた検討の推進</li> <li>○国道261号の線形改良によるネットワークの強化</li> <li>○県道桜江金城線の改良促進</li> <li>○災害に強い河川整備の促進</li> </ul>



## 江津市都市計画マスタープラン(概要版)

策定:令和3年(2021年)3月

島根県江津市 建設政策課

〒695-8501 島根県江津市江津町1016番地4

TEL(0855)52-2501(代)

<http://www.city.gotsu.lg.jp/>